WinJUPOS 長めのDerotation処理について

木星会議 2019/11/10 熊森照明





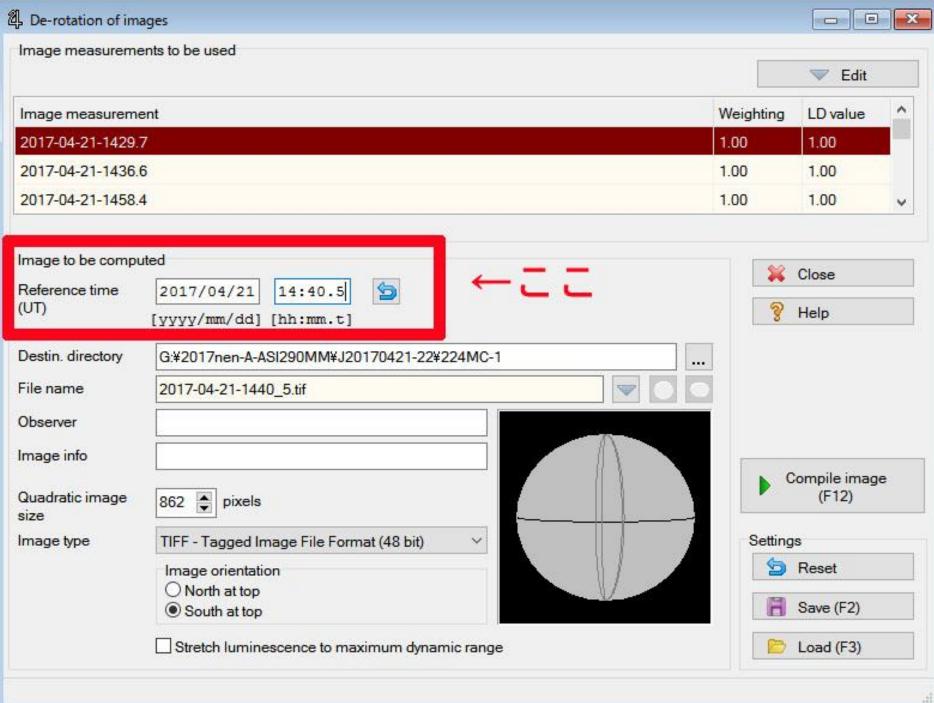




LRGB撮影の時間的流れ



カラー4本(100秒x4) モノクロ6本(100秒x6) 合わせて1000秒(約17分)

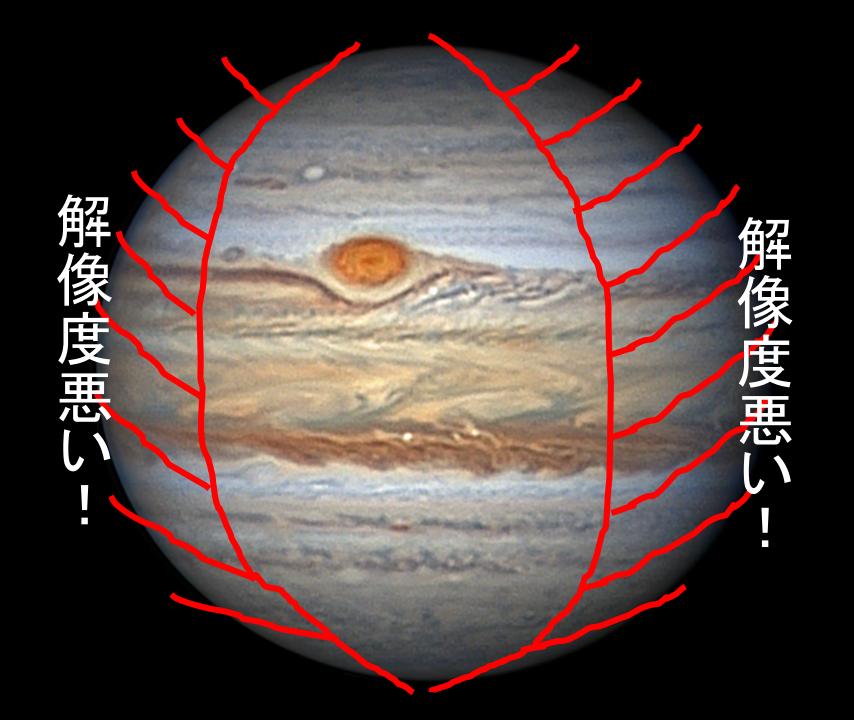


では、もっと長時間のDerotationをすれば、もっと良くなるのでしょうか!?

- ●作例 2019年7月29日 木星●
- -カラー4本(100秒×4)
- -モノクロ20本(100秒x20)45分間

初めのカラーと最後のカラーは約58分間離れています。

2019/07/29 JUPITER



全てのショットでデータの揃っている中央付近は解像度が高くなりますが、リムに近づくに連れてデータ量が減り解像度が下がります。

木星の自転速度を考えると、 概ね1時間が Derotation の有効 時間と考えることができます。

解像度とは違う目的の Derotation を、 ?やってみる!?

- ●作例2 2019年6月25日 木星●
 - カラー8本(100秒x8)
 - モノクロ7本(100秒x7)14分間

曇ったため80分間の空き

- モノクロ8本(100秒x8)16分間

最初と最後のモノクロは、135分間離れています。

2019/06/25 JUPITER



大赤斑が中央にあるとイイですね!!



これからも Derotation の 可能性 を探します!

